



## パテック フィリップ ジュネーブ

2021年11月8日

### オンリーウォッチ2021：パテック フィリップ、歴史的なオークション結果を達成

11月6日（土曜日）にジュネーブで開催されたチャリティー・イベント《オンリーウォッチ・オークション2021》において、永久カレンダー、31日間のパワーリザーブ、および特許取得のまったく新しい機構を搭載したパテック フィリップのデスククロック27001M-001モデルが、950万スイスフランという驚異的な落札価格を達成した。パテック フィリップは、この売上金が神経変性疾患に対する治療法の開発に寄与するため、モノコ・デュシェンヌ型筋ジストロフィー協会に寄付されたことを誇りと喜びをもって受け止めている。

2005年以来、パテック フィリップはオンリーウォッチ・タイムピース・チャリティー・オークションを支援しており、毎回、当社の腕時計の特別なユニークピース（通常はグランド・コンプリケーション）を寄贈している。2021年のオンリーウォッチ・オークション（11月6日開催）に向けて、マニファクチュール パテック フィリップは新しいアプローチを選択し、斬新な機構とユニークな機能を備えたデスククロックを創作した。

パテック フィリップがインスピレーションを得たのは、永久カレンダーを搭載し、8日間のパワーリザーブを備えた当社の歴史的デスククロックであった。これは、マニファクチュールの最も忠実で輝かしい顧客のひとりであったエンジニア兼自動車メーカーのジェームズ・ウォードのために1922年から1923年にかけて製作された。今日、このタイムピースは、ジュネーブのパテック フィリップ・ミュージアムで鑑賞することができる（Inv. P-140）。しかし今回、当社技術陣に与えられた使命は、31日間のパワーリザーブ、日差±1秒、および21世紀のキャリバーにふさわしい操作性を備えた、まったく新しい手巻ムーブメントの創作であった。

### 新しいハイパフォーマンスなムーブメント

7年間の開発期間の末、パテック フィリップ・シールの刻印されたレクタングラー型ムーブメント、キャリバー86-135 PEND IRM Q SEが完成した。部品総数は919個、そのうち約半数が永久カレンダー機構を構成している。この開発プロジェクトの結果、9件の技術特許が出願された。これらは長期にわたる信頼性を向上させるための技術革新と最適化、永久カレンダー機構のエネルギー消費の削減、ユーザーの利便性の向上、誤まった操作が行われてもムーブメントを保護する機構に関するものである。

31日間のパワーリザーブは、3個の香箱を直列に連結することで実現されている。日差最大±1秒を保証するため、ムーブメントは真の《精密調速装置》を搭載している。特許取得の定力機構により、テンプの振り角は、ぜんまいがいっぱいに巻き上げられてから最終日まで1か月間、確実に一定に保たれる。文字盤の中央にはパワーリザーブ表示が控え目に配置されており、ぜんまいの再巻き上げが必要になった時、これをユーザーに知らせる。

機能面では、パテック フィリップは《パッカード》デスククロックに2つの革新的な技術革新を加えた。ひとつはジャンピング・セコンド（フドロワイヤント）である。昔のレギュレーター（歩度調整用の精密時計）のよ



## 《報道資料》 ページ 2

うに、秒針が1秒毎に小刻みにジャンプする。もうひとつはウィークリー・カレンダーである。週番号は、文字盤外周の週番号の目盛りに沿って小さなフレームが移動することにより、素早く容易に読み取ることができる。《パッカード》デスククロック同様、時・分表示は12時位置のオフセンター・サブダイヤル、ムーンフェイズ表示は6時位置、そして曜日と月表示はそれぞれ9時と3時位置の小窓に表示される。日付は、6時位置のサブダイヤルに指針表示される（《パッカード》デスククロックではセンターに指針表示）。さらに昼夜（7時30分）と閏年サイクル（4時30分）表示窓が加えられている。この2つはカレンダー調整に欠かせない。すべての表示は、イエローゴールド（3N）めっきのオパール文字盤上にきわめて読みやすく配置されている。

### メカニカル・ダッシュボード

ユニークピースのオンリーウォッチ2021デスククロックは、《パッカード》デスククロックの形状をほぼそのまま採用し、サイズがわずかに大きくなっている。また左に開くヒンジ付カバーの下にメカニカル・ダッシュボードを備え、革新的なタッチを与えている。このモダンなコントロール・デスクは、すべての調整を直感的に、容易に、そして実行的に行うことができる。これはパテック フィリップのユーザー中心の哲学に完璧に合致している。

ヒンジ付カバーの下の左上隅には、ぜんまいの巻き上げと調整用の鍵をプッシュアップする、特許取得のソケットがある。この鍵は、複数の部品を組み合わせ、芸術的に仕上げられている。右上隅には、時刻調整と巻き上げ用の2つの鍵穴がある。デスククロックは、いっばいに巻き上げると31日間連続して駆動することになる。

文字盤の下には、5つの調整ボタンが配置されている。調整ボタンには文字や記号が記されており、指先で簡単に操作することができる。左から順に週（W）、曜日（D）、ムーンフェイズ（3日月）、月（M）、日付（C）と、文字盤の表示と同じ順序で永久カレンダーを調整できる。これらの調整ボタンを円弧上に配置するためには、中間車による複雑な機械的システムが必要であった。その真下にはもうひとつ鍵穴があり、鍵を用いてストップ・リスタートができるようになっている。このストップセコンド機能により、秒単位の精度で時刻を設定することができる。

### 希少な芸術作品

オンリーウォッチ2021デスククロックの外装は、豊かな装飾を施した当社の歴史的モデルからインスピレーションを得て、これにクラシックでタイムレスな再解釈が与えられている。925シルバー製のケースは、パッカードの故郷にちなんだアメリカン・ウォールナットの化粧板に覆われ、シルクスクリーン印刷により、伝統的なゴールドのラインが施されている。ケースの縁とベゼルには綱のモチーフが施されている。底面の隅と12時位置にある3つのバラ形飾り、カラトラバ十字を縁取るアカンサスの葉、および大ハゲタカをかたどった4つのケース脚は、1923年製作のデスククロックの装飾スタイルによるゴールド箔付けシルバーにより後付けされている。前面の細いプレートには《THE ONLY ONE》と記載されており、このエクスクルーシブな宝物がユニークピースであることを強調している。



## 《報道資料》 ページ 3

パテック フィリップは、世界初の特許取得のまったく新しい機構を搭載したこのユニークピースにより、いま一度、愛好家、コレクターの興味と好奇心を喚起することを意図していた。

この目的は達成され、デスククロック 27001M-001 モデルは950万スイスフランで落札された。この落札価格は、神経変性疾患との闘いを支援するために寄贈された53の全オークション・ロットから得られた、約3,000万スイスフランの収益の約3分の1に当る。

### キャリバー 86-135 PEND IRM Q SE に関する9件の技術特許

#### 技術特許 1

ヒンジ付カバーの下に隠された、巻き上げと調整用の鍵をプッシュアップするシステム。

#### 技術特許 2

3つのぜんまいすべての完璧な回転と平面性を保証するラチェット機構。

#### 技術特許 3

両端の香箱と反対方向に回転する中間の香箱から構成され、香箱が両方向に回転するシステム。

#### 技術特許 4

ぜんまいがいっぱいに巻き上げられてから最終日までの全期間にわたり、テンプの振り角を安定させる定力機構。

#### 技術特許 5

パワーリザーブ表示のストッパー、および輪列との接続に弾性を持たせることにより、パワーリザーブ表示がゼロに達してもムーブメントが駆動を続けることができるようにした機構。

#### 技術特許 6

メインレバーが作動していない間、エネルギーを節約するためにこのレバーの動きを制限する機構。

#### 技術特許 7

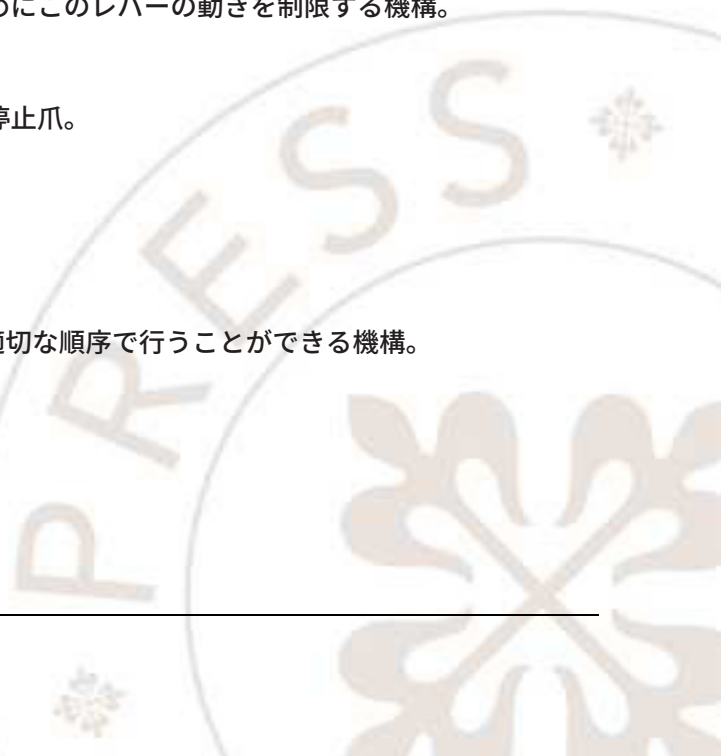
永久カレンダーのエネルギー消費を削減する、最適化された停止爪。

#### 技術特許 8

回転する窓表示の採用による週番号のダブルジャンプ抑制。

#### 技術特許 9

毎月1日に補正機能を作動させることにより、表示の補正を適切な順序で行うことができる機構。





《報道資料》 ページ 4

《本資料に関するお問い合わせ先》

PP Japan 株式会社

パテック フィリップ ジャパン

広告・広報部 部長

大塚 和泉

電 話：03 - 5209 - 8018 (直通)

F A X：03 - 3256 - 7558

[izumi@ppjapan.com](mailto:izumi@ppjapan.com)

《ご掲載いただく場合の読者お問い合わせ先》

パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター

電 話：03 - 3255 - 8109

パテック フィリップ ホームページ：<https://www.patek.com>

